



## ☆本製品の使用際しては、本マニュアルを十分にお読み頂き、正しい施工方法を遵守してください。

### ◆安全作業環境のために

- ・ヘルメット、安全帯を着用し、滑りやすい履物は使用しないこと。
- ・足場は必ず掛けてください。
- ・降雨、降雪での下地が未乾燥の場合は、施工しないで下さい。
- ・気温が著しく低下し、凍結している下地では、施工しないで下さい。
- ・強風時の施工は、しないで下さい。

### ◆下地の確認

- ・野地板が十分乾燥しているときに施工してください。
- ・泥、砂、ほこり、ゴミ等の掃除を必ず行って下さい。
- ・目地空きや段差、釘等の突起物等は、平滑にして下さい。

### ◆材料の保管

- ・本製品は、縦積とし、雨、露、直射日光の当たらない、湿気の影響や損傷を受けない場所で保管して下さい。

### ◆施工上の注意事項

- ・和洋陶器瓦専用下地です。
- ・木造住宅専用で、屋根勾配和瓦4寸以上で平板瓦では5寸以上の使用が可能です。

※流れ勾配が下記の場合には、22kgルーフィング以上の製品との重ね貼り（二重貼り）工法にて施工してください。

屋根勾配	4寸	4.5寸	5寸	5.5寸	6寸
流れ長さ	8m	10m	12m	15m	17m

ジョイント部分の施工は、50mm巾、1.2mm厚ブチルゴムテープ等にてシール施工をして下さい。

- ・本製品が影響を受けない状態に野地板（耐火野地等）を仕上げてください。
- ・鋼製のワイヤー連結釘は、本製品に異常な穴をあけ、漏水の恐れがあるため使用しないで下さい。
- ・瓦釘、タッカー針、釘の選定には、事前に十分吟味して下さい。
- ・釘頭が下地にめり込んだり、釘穴を広げたり、漏水の原因を作らないよう入念に施工をして下さい。

### ◆施工方法

- ・軒先部分から順に棟に向かって施工を行い、上下方向の重ねは100mm以上とって下さい。
- ・横方向の重ねは200mm以上とって下さい。
- ・長手方向の継目は、接近しないように乱貼りします。
- ・棟部は両側に300mm以上づつ振り分けて二重葺きとし、必要に応じて棟に500mm以上の増し貼りとします。
- ・谷部は、最下層に巾1000mmの本製品を野地板に密着させるように捨貼りし、その上に谷の両側300mm以上振り分けて二重葺きとして下さい。
- ・壁の取り合いは、300mm以上立ち上げて下さい。
- ・軒先部は、端部が浮き上がりがないようにプチルテープ等で処理して下さい。

### ◆タッカーの打ち方

- ・タッカー針は、150mm間隔程度に下葺材に直角に打ち込みます。タッカー針の固定場所は垂木線上や重ね部分に打って下さい。  
(推奨品は肩巾10mm、長さ7mm位が適合です。)
- ・打ち損じ、から打ちをした場所はコーキングやプチルゴムテープ等で補修してください。
- ・野地板と野地板の間には、打たないで下さい。
- ・強く打ちすぎて穴をあけないで下さい。
- ・タッカー針が曲がったままの状態にしないで下さい。
- ・タッカー針を斜めに打ち込まないで下さい。

### 《免責事項》

- (イ) 天災地変、火災、台風、風水害などの起因する損傷。
- (ロ) 納入後の輸送、保管、建設、改造等により、機械的または化学的な損傷が生じた場合。
- (ハ) 第三者の故意又は過失によるもの。
- (ニ) 勾配が4寸未満の屋根に使用された場合。
- (ホ) 施工者の故意又は過失によるもの、及び「屋根下葺材使用上の注意事項」等に反する不適当な施工に起因する故障又は損傷。
- (ヘ) その他、一般的な使用条件と著しく異なる条件で使用された場合。
- (ト) 屋根引渡後にベランダ、物干し、アンテナ、太陽熱利用機器等の取付工事、又は改造建築による故障又は損傷。
- (チ) 他社製品と混合して使用された場合。
- (リ) JASS 1 2 屋根工事及び瓦屋根標準設計、施工ガイドラインに反する施工をされた場合。
- (ヌ) 瓦などから著しい漏水やスクリュウ等の漏れやすい釘を使用された場合。
- (ル) 通常の経年変化に伴う、ホコリ、カビ等による汚れの場合。

## ライトスーパーシートa 物性表

試験項目 \ 方向	長手	幅
(1) 引張試験 引張強さ (N/cm) 伸び率 (%)	7.7 7.9	5.8 18.6
(2) 引裂試験 引裂強さ (N)	4.7	5.9
(3) 寸法安定性 (ギアー式: 60±1℃×168時間) 熱収縮率 (%)	0.25	0.43
(4) 折り曲げ性能 (イオン交換水: 20±2℃×4時間) 外観※	亀裂を認めず	亀裂を認めず
(5) 静水圧試験	水漏個数 / 試験個数	
リング釘	1 / 10	
スクリュー釘	4 / 10	

### 試験方法

- (1)(2)(3) JIS A6013:2005「改質アスファルトルーフィングシート」に準拠  
 試験片形状: 引張試験 200×50mm  
                   引裂試験 100×50mm  
                   寸法安定性 300×50mm  
 試験速度: 100mm/min
- (4) JISA 6023:2005「あなあきアスファルトルーフィングフェルト」に準拠  
 試験片形状: 引張試験 90×30mm  
 ※折り曲げ時の亀裂の有無を確認した
- (5) JASS 1 2 屋根工事に準拠

\*本データは、測定値であって保障値ではありません。

\*物性値及び仕様等は予告なく変更させていただくことがあります。

本マニュアルに記載された事項は、予告なく変更されることがあります。

## アナン通商株式会社

京都府京田辺市草内山ノ下47番地 TEL: 0774-62-6625/FAX: 0774-62-8747